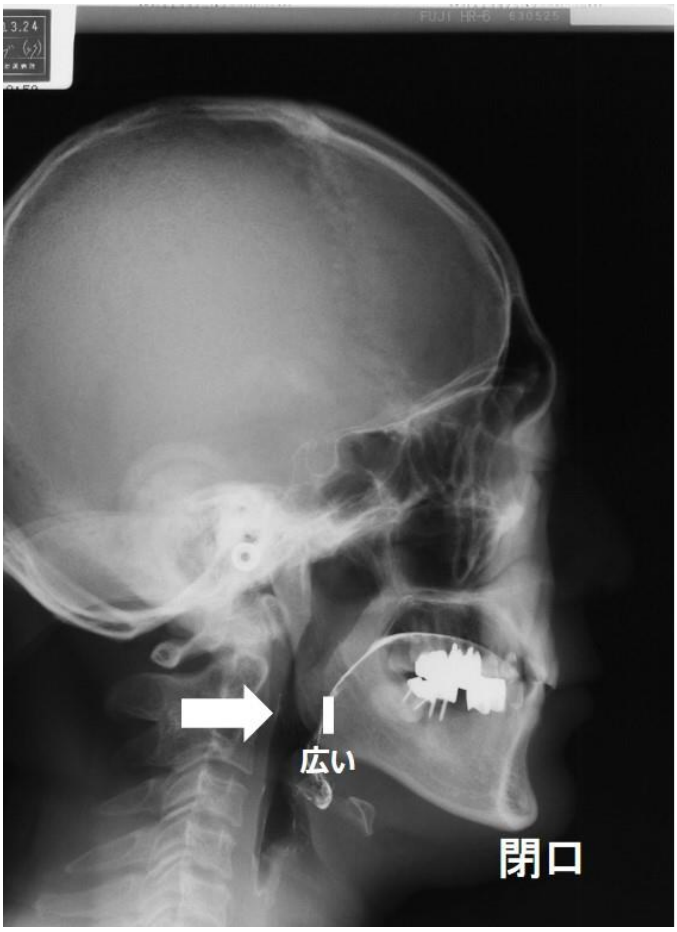
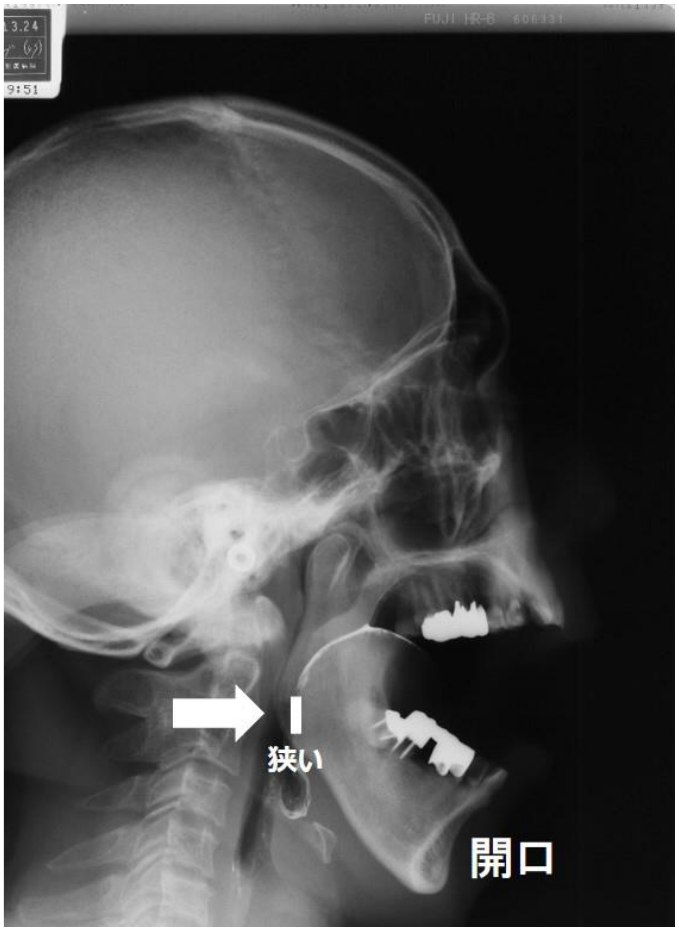
CPAP（シーパップ）治療の補完にマウスピースを併用

2023 年 7 月

のどが狭いと睡眠時無呼吸症になりやすく、口を開けるとさらにのどが狭くなってより重症化します（右図）。睡眠時無呼吸症の治療は狭いのどを広くするため鼻マスクでのどまで風を送るＣＰＡＰ（シーパップ）という装置を用います。送る風はのどが狭いほど強く、強い風は口に漏れ、漏れた風の騒音や呼吸苦で目が覚めやすくなってしまいます。そこにマウスピースを併用して少しでも気道を広くすると、鼻マスクの風が弱くなり、口漏れがなくなり、口の乾きやのどの痛みも生じ難くなります（左図）。
強すぎるＣＰＡＰの風は呼気時の胸腔内圧を異常に増加させ、心臓の拡張障害を生じて、心拍出量を低下させてしまうことがあります。そのような合併症を未然に防ぐためにも、私たちすいみん医科歯科統合センター（こばやし内科、こうの歯科）では積極的に併用治療を行っております。
（参照：河野正己　睡眠時無呼吸症候群　治療　口腔装置とＣＰＡＰ補完療法（診断と治療のＡＢＣ１１９、最新医学別冊）